

令和5年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<p>①専門性を向上させ、キャリア教育を充実させるとともに、共通教科・科目を適切に設置した教育課程を作成する。</p> <p>②商業教育の特長を明確にし、普通科との併置の特性をいかした教育活動を検討し、新校計画につなげる。</p>	<p>①実学としての商業教育を施すための体制づくりを推進し、外部機関等と連携した教育活動の一層の充実を図る。</p> <p>②再編統合による新校準備を見据え、教育課程を円滑に進めるための準備及び体制づくりを推進する。</p>	<p>①2年次から始まる課題研究の学習内容を充実させ、厚木商業高校版デュアルシステムをさらに推進するとともに、小中学校との連携を図る。</p> <p>②両校の授業を互いに見学し合い、学習状況や授業方法を共有し、評価方法や新カリキュラムについて意見交換する。</p>	<p>①生徒による授業評価での達成度及びデュアルシステムの履修生徒の人数が前年比200%(40人)以上となったか。</p> <p>②両校での授業見学が実施できたか。また、生徒の現状を踏まえた適切な次年度の教科書採択ができたか。</p>					
2 生徒指導・支援	<p>①社会の一員として行動するための規範意識を高めるとともに、国際的な視野を養いながら社会貢献に対する意識を育む。</p> <p>②生徒一人ひとりの状況に応じた相談体制を強化するとともに、活動を通して主体的に行動できる人材を育成する。</p>	<p>①基本的な生活習慣や規範意識を踏まえた適切な判断力と行動力を育み、目的をもって計画的かつ協働的に行動できるよう指導する。</p> <p>②生徒が様々な活動を主体的、計画的に取り組めるよう支援する。</p>	<p>①あいさつ、交通事故防止、SNSを含めた適切なスマホ利用、遅刻防止の4項目について学校生活での重点項目として指導・支援する。</p> <p>②行事を目途に生徒会本部・委員会が計画的に取り組めるよう、支援するとともに、新校に向け生徒会本部・委員会の交流が行えるよう方策をとる。</p>	<p>①生徒主体のあいさつ運動が行えたか。また、集会や講演等により、適切なスマホ利用や、交通マナー意識が高まったか。遅刻数が前年比80%となったか。</p> <p>②行事や催しの準備を生徒が主体的、計画的に進めることができたか。また、学校行事で厚木東高校との交流を進めることができたか。</p>					
3 進路指導・支援	<p>①社会的・職業的に自立させ、即戦力として社会で活躍できる人材を育成する。</p> <p>②企業から信頼される実績を積み上げるとともに、進学指導の充実を図る。</p>	<p>①職業理解、上級学校理解を早い時期に推進し資格・検定取得計画と絡めた進路自己目標設定を立てさせる。</p> <p>②自己の適性を理解し、自己の進路を意識した企業研究、上級学校研究、対策学習を推進する。</p>	<p>①年間目標を踏まえたガイダンス計画を立て、事前・事後学習、アンケート等を活用した進路指導を行う。</p> <p>②企業情報、上級学校進路情報を生徒保護者、学年に迅速かつ丁寧に伝えるよう努める。進路指導体制の効率化と進学実績を上げる効果的手法を模索する。</p>	<p>①ガイダンスアンケート結果、面談等でのヒアリングを通じた進路意識調査を実施する。</p> <p>②企業、上級学校からの情報、卒業生からの進学、就職先情報の分析結果による評価。各学年における生徒進路調査のデータによる評価。</p>					

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
4 地域等との協働	<p>①地域に開かれ、地域と共にある学校を実現する。</p> <p>②地域連携部会の意見を取り入れ、実現可能な取組についてスピード感をもって充実させる。</p>	<p>①新校としての広報PR活動を計画的・効果的に進め、中学校及び地域に発信する。</p> <p>②地域の教育力を活用した取組み、PTA活動、地域貢献活動を充実させ、新校を見据えた開かれた学校づくりに取り組む。</p>	<p>①厚木東高校と合同の学校説明会、中学校教員対象説明会を実施するとともに、体験入学、個別相談会、中学校訪問等を行う。</p> <p>②企業・教育機関との協働、PTA活動、生徒による地域貢献活動など主体的な活動を行う。</p>	<p>①入試倍率が1.1倍以上、学校説明会等の参加実績が前年比20%増となったか。広報PR計画書に基づいて実施できたか。</p> <p>②リカレント講座、企業との連携、小学校へのそろばん教室など、地域との教育的交流の場を増やすことができたか。</p>					
5 学校管理 学校運営	<p>①安全で安心な信頼される学校を維持する。</p> <p>②不祥事防止を徹底し、信頼に根ざした学校づくりを推進する。</p>	<p>①学校運営協議会と協働して、社会に開かれた安全で安心な学校づくりを進展させる。</p> <p>②不祥事防止研修会の継続実施と報告・連絡・相談体制の拡充を図る。</p>	<p>①学校運営協議会や学校設置部会において、意見聴取や情報収集の機会を設ける。</p> <p>②研修会後のアンケート結果から問題点を明確にし、不祥事防止に対する意識を高める。</p>	<p>①学校運営協議会や学校設置部会からの意見や提案等を実現することができたか。</p> <p>②アンケート結果をフィードバックして問題点を共有し、改善につなげることができたか。</p>					